

建設業界が変わる IFC 導入

データ共有と互換性でプロジェクト効率を向上

させる IFC

IFC 導入のメリット

● 異なるソフトのデータ互換性向上

IFC を使うことで、ArchiCAD や Revit など異なる BIM ソフト間でデータをスムーズに共有でき、プロジェクト全体のデータ一貫性が保たれます。

● プロジェクト進行の効率化

IFC を導入すると、設計から施工、施設管理までスムーズなデータのやり取りが実現し、進行速度の向上と納期短縮が期待できます。

● コスト削減の実現

IFC を活用した干渉チェックにより設計ミスや施工ミスが減少し、追加工事や修正作業のコストを大幅に削減します。

こんな業務上の課題ありませんか？



設計変更が関係者に迅速に伝わらない



異なるシステムでデータの整合性が崩れる



チーム間での情報共有が不十分で協力が難しい

